

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社クラレ		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 100-8115 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル	
本票作成	部署名：技術本部 動力統括部				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	合成樹脂、合成繊維等の製造 従業員：1,715人（岡山事業所：917人、倉敷事業所：678人、くらしき研究センター：120人）				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山事業所		岡山市南区海岸通1丁目2番1号	
	②	倉敷事業所（玉島）		倉敷市玉島乙島7471番地	
	③	くらしき研究センター		倉敷市酒津2045番地1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 （●工場等の数 3 所 ●車両台数（②該当の場合） 台）				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 27 年度)	(平成 28 )年度排出量	目標年度(平成 30 年度)
	731,703 t CO <sub>2</sub>	728,741 t CO <sub>2</sub>	709,752 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 28 )年度排出量
	①	岡山事業所	631,749 t CO <sub>2</sub>
	②	倉敷事業所（玉島）	94,128 t CO <sub>2</sub>
	③	くらしき研究センター	2,864 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 28 年度 ～ 平成 30 年度 ( 3 箇年度)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	( 28 ) 年度削減実績	目標削減率 目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	0.4 %	3.0 % <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 28 ) 年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 28 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・温室効果ガス排出量は基準年度（平成27年度）に対し△3,000 t CO<sub>2</sub>（岡山事業所+2,200tCO<sub>2</sub>、倉敷事業所玉島△4,700tCO<sub>2</sub>）、△0.4%の減少であったが、目標とした△1%/年（3年間で△3%）の削減は未達成となった。  
 ・温室効果ガス削減の取り組みは計画通りに進んだが、岡山事業所の温室効果ガス排出量は基準年度に対して、発電所燃料の重油から石油コークスへのシフトにより+7,000tCO<sub>2</sub>増加し、省エネ等により△4,800tCO<sub>2</sub>を削減したが、2,200tCO<sub>2</sub>の増加となった。

**【推進体制】**

事業所長をトップとする環境管理組織で環境改善に取り組んでおり、この中でGHG削減計画に関しては、CO<sub>2</sub>削減専門部会が削減活動の企画・管理を行ない、GHG削減活動を推進している。  
また、外部コンサルを活用しての省エネ活動により、新たな省エネ案件の発掘・実行を行ない、効果も上がっている。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山事業所	<b>【平成28年度実施分】</b> (1) ポパール (VAc工程) V-1Tに抽出塔の設置による蒸気使用量削減 (2) クラフレックス700列CDM両サイドカバー設置による放熱ロス削減  (1) ボイラーへのバイオマス燃料拡大 (2) フィルム屑外部処理品のボイラー燃料化 (3) B水ポンプ適正化による電力削減  <b>【平成29年度以降計画分】</b> (1) ビニロン503列ヒートポンプシステム導入による蒸気量削減 (2) エパール E-3T共沸液の再利用による蒸気量削減 (3) RS4104銘柄PAC塔MeOHフィード適正化による蒸気量削減  (1) ボイラーへのバイオマス燃料拡大 (2) フィルム屑外部処理品のボイラー燃料化 (3) ターボ冷凍機冷却水ポンプ適正化による電力削減
倉敷事業所	
岡山事業所	
倉敷事業所	

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	有	岡山事業所で岡山県の『企業との協働の森づくり事業』に参画し、吉備中央町と森林保全協定を締結して従業員が森林整備を行ない、CO <sub>2</sub> 削減に取り組んでいる。
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	有	岡山事業所、倉敷事業所で太陽光発電設備を導入し、運用を行なっている。
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・毎週水曜日を「ノー残業デー」として、残業に伴う事務所照明・空調・OA機器の消費電力削減に取り組んでいる。
- ・岡山県のアースキーパーメンバーシップにほとんどの従業員が登録し、各人が目標を設定することで、GHG削減、省エネの啓蒙を行なっている。